

特集Ⅱ

平成27年中に発生した

長万部町の交通事故を分析



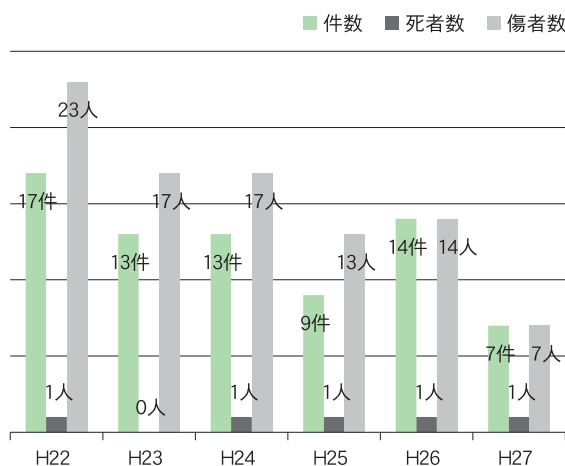
ストップ・ザ・交通事故
くめさせ 安全で
安心な北海道

交通事故の多くは、運転者のほんのわずかな不注意によって発生し、予期しない悲劇を生んでいます。そして被害者になっても、加害者になっても、一瞬のうちに幸せな家庭を崩壊させてしまうのが交通事故です。全国の交通事故死亡者数は15年ぶりに増加となりました。北海道では、全国ワースト5位で一昨年より悪化となり、飲酒運転による交通事故が、今なお後を絶ちません。飲酒運転ほど交通事故が発生する危険度が高いものはありません。また高齢者の方の道路横断時の事故が多く見受けられ極めて憂慮すべき事態となっています。

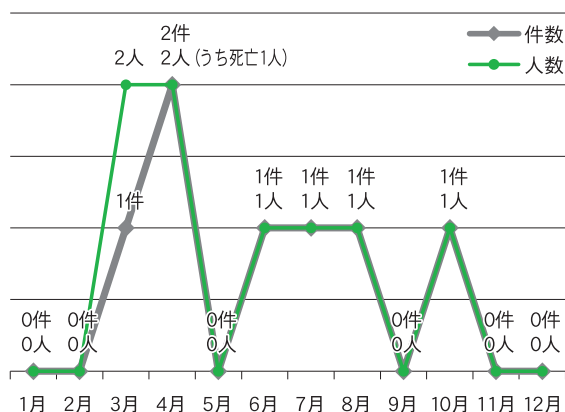
悲惨な交通事故の犠牲者を1人でも減少させるため、飲酒運転は厳禁、スピードは控えめに、車間距離を十分にとり前方を早く認識し、ブレーキは早めに掛け、衝突を回避する努力をしましょう。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年一年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

年別町内発生交通事故の推移



月別町内発生交通事故の推移



1人が死亡
7人が重軽傷

長万部町内では、交通事故のほとんどが日中の通過車両によるものでした。昨年一年間に発生した交通事故は7件、傷者数7人で、前年に比べ件数が7件、傷者数で7人の減少となりました。死亡事故は、残念な事に4年連続で発生し、町外から通勤している方1人が国道5号線で犠牲となりました。

北海道全体における交通事故死者数は前年と比べて8人多い177人で、交通事故死全国ワースト5位となり一昨年の7位から悪化しました。

交通事故の多くは
国道5号線で

道路別の発生状況では、国道5号線で5件発生し、町道が2件で事故の71%を国道5号線で占めています。

幹線道路では、速度が出やすく無理な追い越しなどにより死亡事故につながりやすいと思われます。

また、事故を起こしやすい場所としては、信号機のない交差点や、見通しの悪いカーブなどが一般的に多く、身近なところにも起きやすい場所があるので、見通しの悪いところでは、必ず一旦停止・徐行運転を心がけましょう。

動静不注視が
事故の原因に

事故類型別の発生状況を見ると、7件中4件(57%)が追突や出会い頭、右折直進による車両相互の事故でした。法令違反別では、7件中6件(86%)の事故が、安全運転義務違反が原因となつて発生しており、特に動静不注視が3件と多くなっています。

便利な自動車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になってしまう。車を運転するときは、速度を抑え十分な車間距離をとり、適度な緊張感をもって運転しましょう。